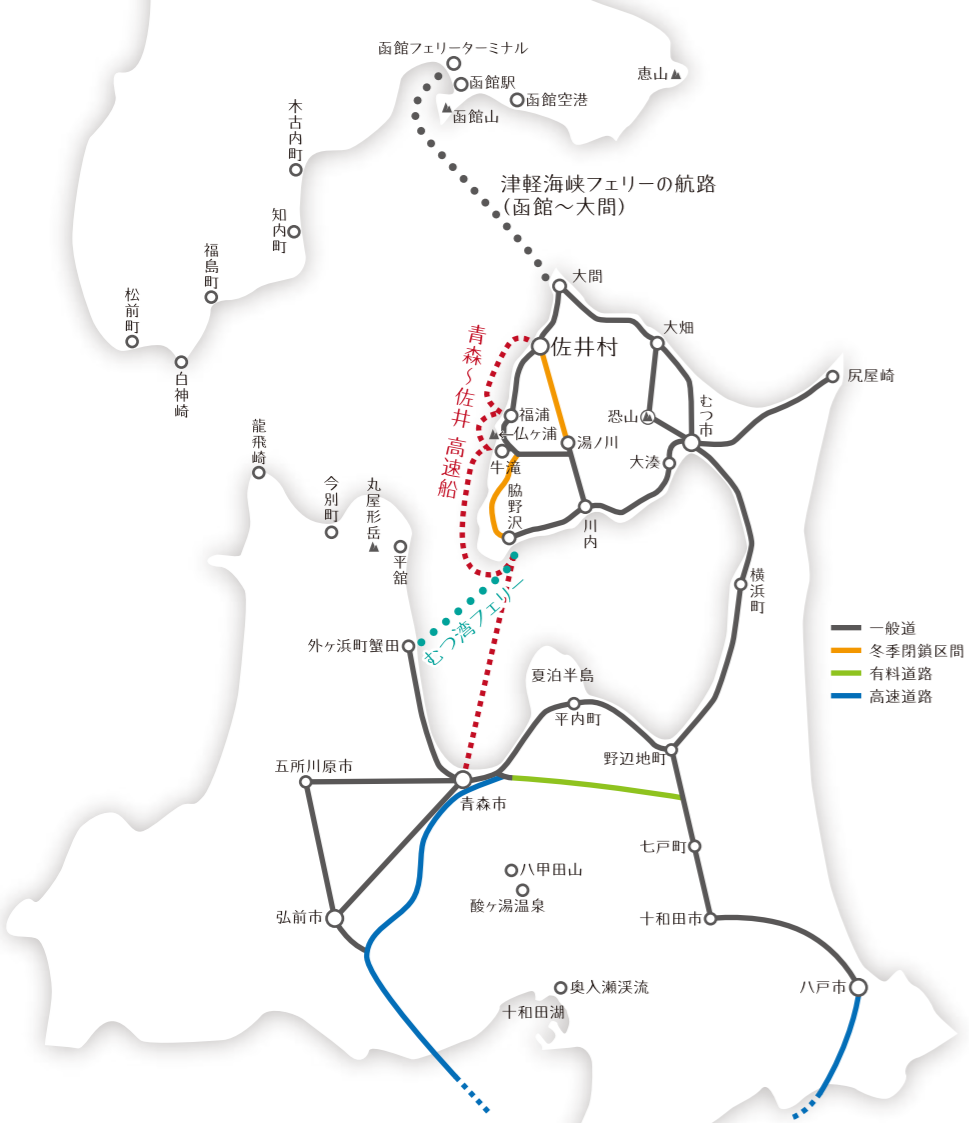


仏ヶ浦ガイドブック

HOTOKEGAURA
GUIDE BOOK



発行 佐井村
〒039-4711 青森県下北郡佐井村大字佐井字糠森20
TEL 0175-38-2111 FAX 0175-38-2492
MAIL si-info@sai.e-shimokita.jp
WEB http://www.sai.e-shimokita.jp/ (佐井村で検索)



各船便利用時の所要時間

青森～佐井 片道 2時間30分
《シライイン株式会社》017-722-4545

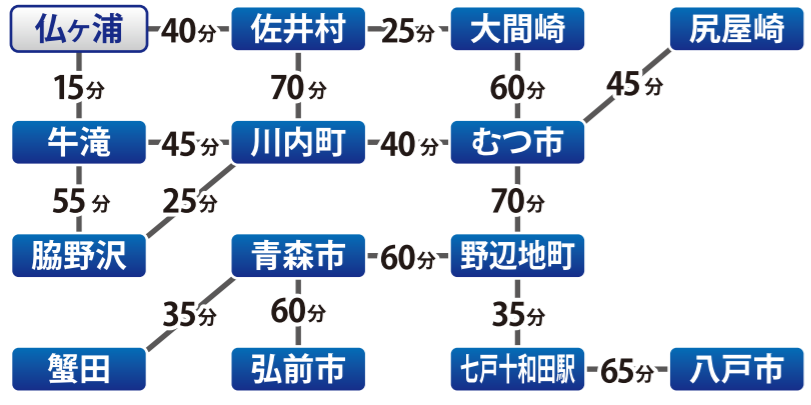
佐井～仏ヶ浦 片道 30分 (往復90分)
《佐井村観光協会》0175-38-4515

函館～大間 片道 1時間30分
《津軽海峡フェリー株式会社》
函館ターミナル / 0138-43-4545
青森ターミナル / 017-766-4733
大間ターミナル / 0175-37-3111

蟹田～脇野沢 片道 60分
《むつ湾フェリー株式会社》
蟹田乗り場 / 0174-22-3020
脇野沢乗り場 / 0175-44-3371

マイカー利用時の所要時間

※所要時間は目安です。



お気軽にお尋ねください。佐井村観光協会 TEL.0175-38-4515 受付 午前8時～午後5時まで

大町桂月の足跡

1922年(大正11年)に文豪・大町桂月が下北半島の山水を訪ねてこの浜に至り、その造形の奇妙さに感嘆して歌を詠んでいます。海岸には、大町桂月の歌碑が建てられました。



神のわざ 鬼の手づくり佛宇陀 人の世ならぬ処なりけり

呆れ果て 驚き果てて佛宇陀 念仏申す外なかりけり

これ以来、仏ヶ浦は人々の注目を集めることとなり、昭和9年10月、県告示第599号をもって青森県天然記念物に指定され、昭和16年4月には文部省告示第600号により、文化財保護法に基づく天然記念物の指定となりました。また、昭和43年7月22日、下北国定公園が設定され、恐山とともに仏ヶ浦も景勝地として大きく取り上げられました。

仏ヶ浦まつり

毎年7月24日(旧暦6月24日)に“仏ヶ浦まつり”が開催されます。祭典の日は、地元の女性たちが十三仏のご詠歌を唱え、長い数珠を十数人で繰る“数珠回し”が行われます。仏ヶ浦に祀られているのも地藏菩薩で、地藏堂のほか、海岸の数カ所に石の地藏様が鎮座しており、謎めいた伝承も残されています。



仏ヶ浦の由来

今から約2,000万年前頃、日本列島がユーラシア大陸から分離して日本海の形成が始まりました。その頃の青森県は未だ海底にあり、活発に活動していた海底火山活動による噴出物などが厚く堆積し、一部に緑色凝灰岩の層を形成しました。その後、約1,000万年前頃から海底が隆起し始め、数百万年という長い時間をかけて青森県の大地が形成されました。仏ヶ浦の原形もこの時に形づくられたと考えられます。凝灰岩の表面はもろく、海流や風雨により少しずつ浸食されることで、現在の神秘的な姿が誕生しました。

仏ヶ浦の発見

この場所は長い間、地元の限られた人々にしか知られていませんでしたが、1793年(寛政5年)に旅行家・博物学者である菅江真澄が訪れて歌を詠みました。

ごくらくの浜のまさごし ふむ人の 終に仏 うたかひもなし

極楽の 浜の真砂路 踏む人の 終わりに仏 うたかひ(疑い) もなし

また、文政の頃(1818～1829)、盛岡藩は新当流師範役 漆戸茂樹の「北の奥旅路記」によると、「海上より海岸に大岩立ちたる、これを一ツ仏という。極楽浜と云うは、砂場にて、きれいな磯辺、仏ヶ浦とて白岩、とがり立ちたる数々あり、まことに奇なる岩ともなり、珍しき所なり」とあります。



